

第7回 函館市都市計画マスタープラン市民懇話会 会議録

□日 時 : 令和7年1月10日(木) 18:30～19:30

□場 所 : 函館市役所 8階第2会議室

□出席者 : ■委員(8名)

奥平委員, 仙石委員, 辻委員, 渡部委員, 小森谷委員
堀田委員, 高澤委員, 三橋委員

■事務局

山内都市建設部長, 東出都市建設部次長, 小畑都市計画課長, 上田主査,
関主査, 茶野主査, 溪本技師, 梅村技師, 大柳主事

□傍聴者 : なし

□議 事

○都市計画課 上田主査

本日は、お忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから第7回函館市都市計画マスタープラン市民懇話会を開会いたします。なお、今回が市民懇話会の最終回となっておりますので、委員の皆様方におかれましては、どうぞよろしくお願いいたします。これより、進行は奥平座長にお願いいたします。

○奥平座長

今回が市民懇話会の最終回となっております。では、まず始めに、出席委員の確認をしたいと思います。阿知波委員から、欠席するとの連絡が入っています。よって、今回は、委員8人で懇話会を進めていくこととなります。

次に、今回予定されている議論に入っていく前に、前回、第6回懇話会の「会議録」を確認して参りたいと思います。委員の皆さんのお手元に、事務局が作成しました会議録(案)が配布され、事前に見ていただいたかと思いますが、修正点などありませんでしょうか。大丈夫ですか。はい。ではそのままでいきたいと思います。では修正ないのでこのまま案の通り確定をしたいと思います。以上でよろしいでしょうか。それではお手元に配付しております次第に沿って順次議題を進めていきたいと思います。

前回の第6回市民懇話会では、本市の魅力と資源を生かしたまちづくりの方向性というテーマに基づいて、委員の皆様にご議論いただきました。本日の議題でございますが、まちづくり提案書の決定でございます。第2回から第6回懇話会まで、委員の皆様にはご議論いただいたわけですが、その議論の内容を踏まえまして、事務局と私の方で相談させていただきながらまちづくり提案書の案を作成いたしました。では、委員の皆様には事前にご覧いただけたかと思いますが、内容について事務局より説明をお願いいたします。

○都市計画課 上田主査

はい。それでは、まちづくり提案書の案について、事務局からご説明させていただきます。

まず表紙でございますが、提案書の題名につきましては「まちづくり提案書」と付けさせていただきます。

表紙をおめくりください。目次でございます。構成でございますが、第1章から第5章の5章構成としておりまして、はじめに序章を、最後に資料編を加えております。

章の構成につきましては、基本的には第2回から第5回の市民懇話会ごとの議論の流れですとか、想定論点を踏まえて作ったものでございます。

まず第1章でございますが、人口減少社会に対応したまちのかたちとしております。この章の

中は1から3に分かれておりまして、暮らしに必要な施設、安心して暮らせる住環境、住み続けられるコンパクトなまちと、日常の利便施設や住環境についての提案が記載されております。

次に第2章でございますが、誰もが暮らしやすいまちのすがたでございます。この章の中は1と2に分かれております。ここは、多様な人々、誰もが暮らしやすいまちのすがた、地域コミュニティの形成と、地域における暮らしについての提案となっております。

続きまして第3章でございますが、拠点地域間の移動と公共交通のあり方としております。ここは拠点地域間の移動、誰もが安心して移動できるまちのあり方と、公共交通関連につきましの提案でございます。

次に第4章でございます。都市機能の配置とまちなか居住のあり方といたしまして、拠点となる地域に必要となる機能、まちなか居住・まちなかの賑わい、まちなかの防災と、都市機能のあり方や拠点についてと、防災についての提案でございます。

次に第5章でございますが、本市の魅力と資源を生かしたまちづくりの方向性でございます。ここでは函館市の魅力と特色、函館市の魅力を生かしたまちづくり、地区別のまちづくりと、本市の特色や地区ごとのまちづくりについての提案が記載されております。

最後に資料編でございます。主に市民懇話会で使用いたしました資料から抜粋したもので構成しております。その後に、市民懇話会の設置要綱、開催経過、委員名簿とありまして、一番最後には会議風景として、写真を掲載しております。

以上、提案書の概要について、ご説明いたしました。

○奥平座長

ただいま説明いただきました、まちづくり提案書の内容について、ご意見等はございませんでしょうか。特にないでしょうか。それでは、このまちづくり提案書の案をもちまして、決定したいと思います。

続きまして、次第の4その他でございますが、委員の皆様から何かございませんでしょうか。特にないですかね。

それでは、市民懇話会の締めくくりとして、委員の皆様方から、皆さんが思い描くまちの姿について、ひと言ずつご意見をいただければと思います。それでは、仙石さんからお願いできますか。

○仙石委員

おおよそ半年間、皆さんと議論を重ねた内容が提案書の中身を書いてるなと思いました。コメントとしては、このまちづくり提案書を基にして、まちづくりをセンターでも仕事をしていきたいです。市民が函館市に住み続けてもらうために、あるいは、移住される方に対して定住していただけるようなまちになれば良いと思います。このまちづくり提案書を参考にしながら、まちの現状について説明することになると思います。ぜひ仕事で活用させていただきたいと思います。仕事に生きる内容でした。ありがとうございました。

○辻委員

私の方で参加させていただいて、まだ提案書の中身は提案の提案という感じで、解決策が書いているわけではないです。これからも継続して検討していく必要があるんだと思います。コロナをきっかけにして情勢は急激に変わっていききました。これからもどんどんまちづくりに関する提案を行い、マスタープランのスパンを短くして検討していくことが必要だと思いました。ありがとうございました。

○渡部委員

渡部でございます。先ほどもございましたが、半年が過ぎたということでとても早い期間でし

た。中身を拝見して思っていたのは、私は函館の人口減少に危機感を持っていて、函館の未来に不安がございます。提案書の中には函館の未来について議論した内容が盛り沢山に書いてございます。これらができれば函館の未来は明るいのではないかと思います。

○小森谷委員

これまで様々なテーマを細分化して意見を議論してきたと思います。それまで、細かいところに気が付いていない部分もありましたが、皆さんと議論していく中で函館には魅力がたくさんあるということに気づくことができました。函館に住んでいる人たちが函館の良さに気がつけば、もっと楽しいまちになると思います。

○堀田委員

まずは半年間ありがとうございました。私は市民の立場で参加していて、自分が普段行くエリアくらいしかわからなかった中で、委員の皆様と議論している中で、様々なことを知ることができました。参加している委員の仕事の話も交えながら、議論することができてよかったと思います。今後も函館市の一市民として、まちづくりに係る取組に携わっていきたいと思います。

○高澤委員

半年間ありがとうございました。学生の立場として参加することができて大変勉強になりました。函館の困っていることについて、色んな視点をもって議論することができ、貴重な経験となりました。学生として、まちづくり提案書に1つの意見として取り入れられていることが良かったです。まだ提案の段階かと思うので、今後も検討をお願いしたいと思います。

○三橋委員

半年間つたない意見をくみ上げていただきありがとうございました。世代や立場や性別の違いの中で色んな立場の方の話を聞くことができました。私は建築の立場として、建築の分野ではこうした方が良いという一般論があるんですが、今回このような経験をして、それだけじゃない、色んな意見があるんだなということを知ることができました。

建築的な意見として1つ話しておきたいのは、コンパクトシティを進めるには防災面の強化を考えなければならないということです。コンパクトシティにしたんだけど、災害で全部だめになりましたでは、全く意味がない。コンパクトシティは防災面を強化することを大前提の上で考えていただきたい。コンパクトシティを目指すならば、防災を最優先していただく、これをどうか頭の片隅に入れて計画していただきたいと思います。

○奥平座長

では私からも最後に。まとめではないですよ。私の意見ですけれども。本当に皆さん半年間ありがとうございました。私もですね、皆様の意見、いろんな分野のいろんな年齢層の方々のお話を聞けるって言うのは初めての経験だったんですが、やはりとっても新鮮で自分の考えが必ずしも正しくはないんだということがよく分かる会議だったかなというふうに思います。だからいろんな視点がですね広がったのかなというところを強く感じたところです。やはり、今防災の話を三橋委員からいただきましたけれども、実は防災の先進都市だったんですよね。函館は。このグリーンベルトっていうのが実はすごくて、これがですね、もう大火の後すぐに、大火が大正時代から10回くらいあったっていうことで、もうどんどんグリーンベルトになっていったというそういう経緯がある中で、やはり先駆的に街に火が及ばないようにしていったという先人たちの知恵をいかにして我々が受け継いでいくのかっていうのが問われているのかなと。また今回の会議の中でも防災に対する考え方というのを皆様と議論出来たのはすごく良いことだったかなと思います。

本当にいろんな分野のいろんな話を半年間やったので最初の頃の話をだんだん忘れてきている

んですけども、人口減についてはやはりどうしようもないんだというところが今のところかなと思います。大体年間 3500～3600 ずつ減っている感じですね。ですので、このままでいくと大体あと 3～4 年くらいで 20 万人くらいになっていくのかなというところなんですけれども、ただ皆さんとの議論をしている中で思ったのが、やっぱり函館って住みやすい街なんだなということを感じました。コンパクトシティという話をしているんですけれども、実は函館って元々コンパクトシティだったというそういう研究例もあるくらいですので、そう考えるとじゃあ更にコンパクトにする必要があるのかみたいな話になってくると、さあその部分はこの後また更に議論を進めていく必要があるのかなと思います。

また、高速道路が外側に出来たことによってですね、高速道路まではまちが広がっていくのかなというふうに見ていたんですけれども、そんなに広がってないなという感じです。まあ調整区域に入っているためになかなか住宅地にならないという部分はあるかと思うんですけれども、逆にですねもう一つの問題点が、空洞化が起きているんですね。交通網が便利になったらですね、元々の幹線だったはずの産業道路がですね、交通量が激減しております、お店がどんどん変わる、お店がどんどんなくなるという現象が起きています。そうするとあの辺に住んでいる方々はコンパクトシティというよりはだんだん不便になってくるから移るしかないなみたいなそういう動きになってくるのかなと思います。だからそうするとやはりこれは政策を通して内側に誘導していくという方向性は必要なのかなと思いますし、あとは公営住宅ですね。公営住宅も適宜作っていく必要があるのかなというところは今回感じたところでもあります。

実は今回のこれ皆さん提案書の最後の方の写真見ていただくと夏の格好なんですよ。夏の格好ですよ。今日はまたすごい寒いんですけれども、いかに長い時間やってきたかっていうのがよく分かる写真かなという感じがしています。本当にこの議論を皆さんとできたことがすごく私にとっても貴重な経験でしたし、またこれが市の施策に反映していくということは大変嬉しいことだと思います。

私が一つ忘れていたのがですね、学生を連れてくればよかったというのを強く感じました。学生 2 年生 3 年生 4 年生順番に連れてくれば良かったかなと思っていました。ちょっと残念なところなんですけれども、こういう機会がまたあれば学生にも参加してもらって、こんなことをやっているんだよということを身近に感じてもらえればいいかなというふうに思っております。

本当に半年間皆さんにはお世話になりました。どうもありがとうございました。では事務局に進行をお返しいたします。

○都市計画課 上田主査

奥平座長、委員の皆様、ありがとうございました。それでは、ご提案をいただきましたので、ここで函館市都市建設部長の山内より一言ご挨拶申し上げます。

○都市建設部 山内部長

皆さまお疲れ様でございます。都市建設部長の山内でございます。

市民懇話会の終了にあたりまして私の方から一言お礼を申し上げたいと思います。本懇話会ではですね、様々な分野で活躍されている皆様に委員の方にご就任いただきまして、先ほど皆さんおっしゃってるとおりですね、本当に夏の暑い時から、今の冬の寒いこの、本当に私たちもですねこれだけ長期間でやる会議というのはあまりなくてですね、本当に改めて皆様の口からも出ていましたけれども、本当に長期間にわたりまして皆様にご苦勞をおかけしたなということで本当に心からお礼を申し上げたいなというふうに思います。

まちづくり提案書としてですね、今回いろいろと取りまとめていただきましたけれども、そのいただきました提案書につきましては、市が向かうべき大きな方向性ですとか、それから考え方

の他、今回個別具体的な施策ですとか、それから取組みまで色々と多岐にわたって非常に網羅されているなというふうに思っていて、大変貴重なご意見をいただいたなというふうに思っております。委員の皆様におかれましてはまだまだ言い足りないなというものもあるかと思えますけれども、今後都市計画マスタープランを作成、成案化していく中でですね、もっと皆様から意見を聞いていくというふうな作業もございますので、引き続きですね、その中でも皆さんの方から意見の方、忌憚のない意見いただければいいのかなというふうに思っております。本当に長期間にわたりまして市民懇話会の方、ご参加いただきまして誠にありがとうございました。

最後になりますけれども、皆様の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして簡単ではございますけれどもお礼の挨拶とさせていただきます。本当にお疲れ様でございました。

○都市計画課 上田主査

次に、今後についてご連絡させていただきます。本日、決定いただきました提案書につきましては、市民懇話会を代表いたしまして、奥平座長と仙石副座長より、市へ正式にご提出していただき、市のホームページに公開したいと考えております。

また、会議の冒頭で確認していただきました、第6回市民懇話会の会議録と、事務局で撮影いたしました写真を、近日中に市のホームページに公開したいと考えております。

なお、今回、第7回市民懇話会の会議録につきましては、作成次第、皆様の元へお送りし、ご確認をいただいたうえで、市のホームページに公開したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、函館市都市計画マスタープラン市民懇話会を終了させていただきます。

委員の皆様におかれましては、長期間にわたるご議論、誠にありがとうございました。

以上